

秋晴れで心も体もほっこり

―第29回根室産業フェスティバル10/6―

根室の収穫を祝う産業フェスティバルが、北方四島交流センター横の特設会場で行われ、5,500人の市民や観光客が詰めかけました。

会場では、市内4漁協や道東あさひ農協などの各団体が格安提供した根室ならではの秋の味覚を、その場でほお張る人や、仲間同士バーベキューコーナーで楽しく味わう人など、笑顔があふれていました。

また、大好評の牛ロースステーキをはじめ、エスカロップパーガーやさんまロール寿司などは午前中に完売。初出店となった黒部特産コーナーの名水ポークも、昼前には完売していました。

食のみならず、大型建設機械に乗り込めるコーナーや、牧草ロールに書き込む子どもペイントコーナー、バター作



離さないようカゴへ向かう女の子



バター作りに夢中な小学生



初出店の黒部特産コーナー

り体験など、アトラクションも充実。恒例の秋サケつかみどりコーナー周辺では、親子連れや目じりを下げたおじいちゃん、おばあちゃんが子どもや孫の勇姿を一目見ようと詰めかけ、「あそこだ」「ここだ」と応援し、子どもたちもその声援に応えるように、身長と変わらないほどの大きなサケを必死につかみあげていました。大人から子どもまで、たくさんの方が楽しんだ一日となったことでしょう。

納沙布岬に向けて、国後・水島・貝殻島の3つのコースを実際に歩き、北方領土返還の世論喚起を図ることを目的とした「第9回北方領土まで歩こう会」に市内外から千人余りの参加により、道道根室半島線で行われました。

参加者は、北方領土返還への熱い想いをゼッケンにメッセージをそれぞれ書き、その距離の近さを体感しながら、心地良い汗流し納沙布岬までのゴールを目指しました。

今回初めて参加した「北見歩こう会」の29人を代表して

3島までの距離を実感

―第9回北方領土まで歩こう会9/29―

会長の松木久人さんは、「北方領土の距離の近さをつくづく感じた、早く返還されるこ



水晶島コースをスタートする参加者



エリカちゃんと記念撮影する「北見歩こう会」の皆さん

とを願います」と真剣な眼差しで話してくれました。

また、今回ゲストウォーカーとして、バレーボール元日本

代表の高橋みゆきさん

も、水晶島

コースから参加し、参加者を激励するなど交流を深めていました。

ゴール地点では、北方領土イメージキャラクターエリカちゃんのお出迎えもあり、参加者とのハイタッチや記念撮影と大忙しの人気ぶりでした。

また、歩こう会に引き続き行われた「返還祈願フェスティバル」では、長谷川市長のあいさつをはじめ、元島民によるシュプレヒコール、そして高橋みゆきさんのトークショーが行われるなど、会場は歓声で沸いていました。

糖尿病ってどんな病気

―ねむろ糖尿病デー市民公開講座10/14―

ねむろ糖尿病デー実行委員会が、総合文化会館にて糖尿病に対する知識を深めるために、「ねむろ糖尿病デー市民公開講座」を開催し、講演や相談・測定コーナーなどに市民約100人が詰めかけました。

講演にあたった市立根室病院の上野医師は、糖尿病の原因は、加齢、遺伝、肥満、運動不足をあげ、根室の方は歩かず、近い場所も車を使用することを指摘していました。

医師コーナーで、相談した女性は「動脈硬化の検査結果が、正常範囲と診断され安心した」と話してくれました。

参加した市民は、糖尿病の正しい知識にふれ、この病気に対する認識を深めました。

